

入院診療計画書

前立腺全摘除術をお受けになる パス テスト001 様へ

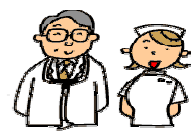
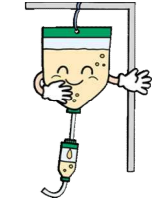
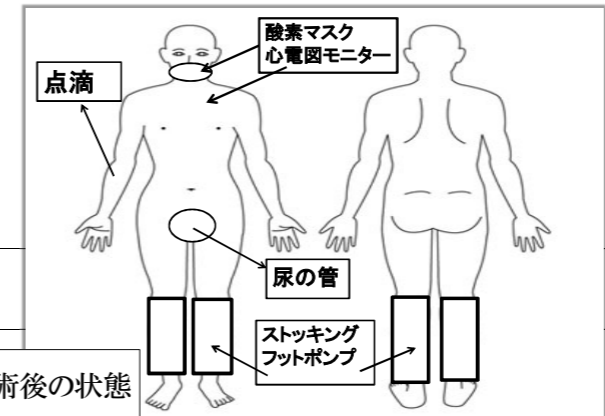
泌尿器科 5階北病棟

号室
患者番号 0008985093

【患者または代理者同意署名】

年 月 日 氏名
*代理署名の場合 患者との続柄 ()

主治医氏名		印			
主治医以外の担当者氏名	担当医師 看護師長 管理栄養士 担当看護師				
病名 症状					
特別な栄養管理の必要性		(あり ・ なし)			
推定入院期間	入院日～手術前日	手術前	手術当日 (月 日)	手術後	1日目～7日目 (尿道カテーテル抜去まで)
注射・内服	なし	手術前に点滴を行う場合があります。	医師の指示があるまで点滴が続きます。必要時応じて、点滴の保護を行っていきます。	医師の指示があるまで点滴が続きます。	なし
	持参薬とお薬手帳の確認をします。手術前日14時より下剤を2時間程度かけて内服します。また消灯前に錠剤の下剤を内服する場合があります。	医師の指示により内服を行う場合があります。内服時間についてはお知らせします。	点滴の部位が腫れたり、痛みがある場合は教えてください。ボタン式の痛み止めが始まりますが、使い方は看護師が説明します。内服は中止になります。	内服再開については医師の指示に従って下さい。痛みがあるときは、看護師にお知らせ下さい。痛みどめを使用していきます。	痛みがあるときは、看護師にお知らせ下さい。痛み止めを使用していきます。
検査	医師から指示があれば、手術前に他科受診や採血などする場合があります。	なし	なし	なし	なし
処置	手術前日にお臍をキレイにする処置を行います。	医師の指示により浣腸を行う場合があります。処置時間についてはお知らせします。	異常がないか判断するため、血圧や脈拍、尿量などの測定を行います。	なし	問題がなければ尿の管が抜けます。(場合によっては造影検査を行うことがあります)
教育・説明・指導	医師から手術について説明があります。看護師から病棟の案内と手術前の準備、手術後の注意点などを説明します。手術の前日13時以降麻酔科の受診があります。(月曜日が手術の方は金曜日に受診になります)手術必要物品としてT字帯2～3枚、腹帯2～3枚、尿とりパットを購入します。売店で購入できます。手術入室時間についてはお知らせします。	入室準備として手術着に着替え、T字帯をつけます。医師の指示のもと弾性ストッキングを着用します。腹帯は看護師に渡してください。時計、入れ歯、メガネ、ネックレス、コンタクトレンズ、補聴器など身に付けているものは外してください。手術室に入室したら、リストバンドを見せ、名前を名乗ってください。	手術後の合併症(深部静脈血栓症)予防のため医師の指示のもと弾性ストッキングを履き、血流を良くするための機械をつける場合があります。	歩行が可能になりましたら、弾性ストッキングを外していきます。また発熱や尿路感染予防として水分を1日1L～1.5Lを目標にとるようにして下さい。医師の指示により手術後に、排尿自立外来を受診する場合があります。	尿漏れの量を確認するため排尿日誌を記載します。記載方法は看護師が説明を行います。医師の指示により尿の管が抜けた後に、排尿自立外来の受診をする場合があります。尿漏れ予防・改善のため尿の管が抜けた後の骨盤底筋体操について説明します。発熱や尿路感染予防として水分を1日1L～1.5Lを目標にとるようにして下さい。退院後の注意点について説明します。詳しくは別紙参照して下さい。
安静度	特に制限はありません。	特に制限はありませんが、点滴を行っている場合は、点滴棒を使用しながら歩行していただけます。手術室までは状態に応じて、看護師付添歩行または、車いすやストレッチャーで入室します。	医師の指示があるまで起き上がることはできませんが、寝返りはうつことができます。管類が多いため、寝返りの際は看護師がお手伝いをします。必要時は枕を使用して体勢を整え、苦痛なく休めるよう努めます。	医師の指示のもと手術の翌日から歩行可能となります。手術後初めて歩行するときは、点滴や尿の管が入っており、歩行状態を看護師が観察しますので教えて下さい。	医師の指示により、徐々に安静度が変わっていきます。
食事	夕食まで食べられます。(必要時、低残渣食になることがあります。その際は間食を控えてください。)麻酔科の指示時間より絶食となります。時間についてはお知らせします。	麻酔科の指示時間より水分の摂取ができません。時間についてはお知らせします。	食べたり飲んだりすることはできません。	医師の指示のもと朝から飲水・食事が再開予定です。	特に制限はありません。
排泄	特に制限はありません。	手術の30分前に排尿を済ませて下さい。	尿の管が挿入されているため、尿は自然に流れます。尿意が強く、苦痛があれば看護師に伝えて下さい。痛み止めを使用して尿意による苦痛を軽減できるよう努めます。	医師の指示があるまで尿の管が挿入されています。尿意が強く、尿の管の違和感がある場合は看護師に伝えて下さい。	尿漏れに対しては尿とりパットを使用して対応します。尿の管が抜けた後には、尿の色や出にくさ、残尿感がないか確認を行います。また残尿測定を行います。血尿が増したり、排尿困難感が強い場合は看護師に報告して下さい。
清潔	手術後は医師からの許可があるまで入浴できないため、手術前日はシャワー浴を行って下さい。	シャワー浴はできません。	シャワー浴はできません。	看護師がタオルで身体を拭きます。また医師の指示がありましたら、シャワー浴可能となります。	医師の許可があればシャワー浴が可能となります。
リハビリ	なし	なし	なし	なし	なし
その他	なし	なし	なし	なし	なし



*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地
TEL : 055-273-1111 (代表)

平成30年11月改訂